



NPO Honokuni
Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 109 穂の国森づくりの会

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail / honokuni@honokuni.org
http://www.honokuni.org/

昨年の12月25日に『2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略』が日本政府から発表されました。2050年までにCO₂等の温室効果ガスの国内排出量を実質ゼロにするというもので、14の重要分野の実行計画が掲げられています。この計画には、新たな林業技術の実証と普及、高層建築物の木造化、バイオマス由来の新素材の開発と普及等、森林に関係する分野も多く含まれています。

ただ、どの実行計画も画期的な技術革新と、日本人の固定観念を覆すようなライフスタイルの変化が必須になることでしょう。果たして、2050年の地球環境はどのように変化しているのでしょうか…

(もりみの)

コロナ禍における活動について

令和2年度上半期の活動

令和2年度の活動は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言と同時に始まりました。その間、事務局の受付業務時間の短縮や活動の自粛など、会員の皆様には大変ご不便をお掛けしました。

特に第20回定時総会は、開催ができるかどうか難しい状況でしたが、会員の皆様のご協力により何とか乗り切ることができました。

上半期(4月~9月)に予定していた自然観察会や企業・団体の森づくりサポート活動など大人数で2密(密集、密接)になりやすい事業に関しては、新型コロナウイルス感染防止対策に苦慮し、ほとんど開催できない状況が続きました。

ただ、その間何もできなかったわけではありません。穂の国みんなの森活動やウッドパーク平尾活動など小人数で密にならない事業を集中的に行うことができました。穂の国みんなの森活動は、活動を始めてから20年になることから、毎年行ってきた森の成長記録を取りまとめました。

また、ウッドパーク平尾活動は、草刈りや休憩スペース、多目的広場の整備などの維持管理作業を行いながら生き物調査も実施しました。その結果は、本号から数回にわたってご紹介します(3p参照)。

令和2年度下半期の活動

10月以降になると、新型コロナウイルス感染対策もいろいろなことが分かってきましたので、徐々に通常の事業を行うことができるようになりました。企業・団体の森づくり活動では、大人数でもソーシャルディスタンス



▲ 東三河ふるさと公園での木工体験

を保ちながら森林整備作業ができるように工夫をしました。また、自然観察会では人数制限を設け、班別にコースを変えるなどの工夫をして、無事に事業を終えることが出来ました。

そして、11月以降になると延期していた「木育(もくいく)」活動を再開しました。森づくりベンダーの設置で大変お世話になっているオートボックス(株)クライムさんと共同で、木工体験を「東三河ふるさと公園」(豊川市)で開催しました。また、豊橋木材商工協同組合さん他と共同で木工体験を「豊橋市こども未来館ここにこ」で開催し、多く子どもたちに木に親しんでもらいました。

皮肉にもこのコロナ禍で、森林空間への関心が高まっています。2050年の地球環境の中を生きていく子どもたちに森林の大切さ、木に親しみ利用する大切さを伝えるために、令和3年2月下旬以降も新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら、森づくり体験講座や木工教室などを全力で活動する予定です。

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その18
「乙女溪谷」
中西 正

新緑の乙女溪谷自然観察ハイキング 2008.6.15

乙女溪谷は岐阜県中津川市の北西に位置し、裏木曾県立自然公園に属している。その名の由来ははっきりしないがきれいな名前、これだけで憧れる人がありそうである。今回は今までの観察会中で最も遠い部類に属し、午前8時に出発して目的地の到着は11時を過ぎていた。講師は熊谷先生だった。

裏木曾にある小秀山のふもとにあたり、深い溪谷が続いている。このような溪谷では、普通なら岸壁をへばりつくようにして横に進んだり、川の石を飛び越えながら行かなくてはいけないだろうに、ここには栈橋が付けられている。急な場所は階段状になり、川岸は栈橋がきちんとしており手すりもある。生活環境保全林事業によるということだが、この施設がなければ我々は近づけない自然だろう。安全にこの溪谷の自然を見ることが出来る。奥三河の乳岩や岩古谷山の壊れかかった施設を思い出すとき、愛知県の遅れが気になった。



▲ 溪谷沿いの自然林と木製の栈橋

地域全体としてはスギ・ヒノキ植林が多いというが、こと溪流沿いに限っては自然林が見られる。フサザクラ、マルバノキなどが溪谷にせり出している。その下にはオオカメノキ、ハナイカダ、ノリウツギなどが生えている。岩にはフジシダ、チャセンシダ、イワヒバなどがついている。オシダの株が放射状に葉を伸ばしている。つる植物ではマタタビやイワガラミが見られた。この谷には滝や淵が発達している。滝では、下からねじれ滝、和合滝、夫婦滝があるが、今回の行程は和合滝までであった。



▲ オシダ

ねじれ滝を越して、標高1000mあたりにシャクナゲ群生地がある。花の時期は5月末であり、今回は花を見ることはできなかったが、斜面一面に薄ピンクの大き

な花が咲くことが想像された。ここでシャクナゲと言っているのはホンシャクナゲで、中部地方以西の本州と四国の山地に分布するものである。葉は広く、その裏に毛は生えていなかった。木の性質は低木で、やや暗い環境に生えていた。この群生地は上部をリョウブが覆い、その下にシャクナゲが群生している。一緒に生えているのはマルバノキ、シロモジ、タムシバなどであった。その下の草本層にはリョウブ、マルバノキ、コアブラツツジの幼木やシシガシラが生えていた。



▲ 和合滝



▲ シャクナゲ群生地

この場所の観察の最適時期は4月、5月の新緑の時期で、5月20日頃のシャクナゲの花のシーズンは最もいいと思われた。また、10月の紅葉の時期もベストシーズンといえるだろう。6月からの夏の時期も涼しく歩ける場所に違いない。今回はこれに当てはまった。



会員さんの森づくり探訪

シリーズPart19

日本たばこ産業株式会社 東海支社豊橋支店さん

日本たばこ産業(株)東海支社さんは、JTグループの「サスティナビリティ戦略」のもと、「自然・社会・人の多様性から生まれる、これからの魅力的なまちづくり」をテーマに、積極的に社会貢献活動を展開されています。森林環境の保全に関しては、岐阜県中津川市で森林保全活動「JTの森中津川」に取り組まれているそうです。

日本たばこ産業(株)東海支社豊橋支店さんでは、環境保全活動(環境美化、水と緑を守る)に重点を置き活動をされています。環境美化では530運動環境協議会に入会し、活動に参加されています。また、独自に清掃活動を定期的に行われているそうです。

水と緑を守る活動では、昨年6月に当会に入会いただき、現在は「ウッドパーク平尾」の里山保全活動に参加いただいています。9月19日に開催した「ウッドパーク平尾里山づくり育樹祭」では、残暑が厳しい中、植樹エリアの下刈り作業に参加いただきました。

また、年末の12月19日のウッドパーク平尾の定期活動では、ビオトープエリアの草刈り作業に汗を流していただき、ウッドパーク平尾活動の維持管理作業に大きく

貢献いただいています。

これからもSDGsの理念を共有しながら、東三河地域の森林保全に取り組んでいければと思っています。よろしくお願い致します。



▲ ビオトープエリアの草刈り



▲ 里山づくり育樹祭参加の皆さんと

ウッドパーク平尾の生き物 ～トンボを中心に～ (その1)

里地の生き物を調べるときに、よくトンボが自然環境の指標として取り上げられます。今回、ウッドパーク平尾のトンボを調べたところ、なんと30種以上のトンボを観察することができました。これから数回にわたって確認できた生き物についてトンボを中心に紹介します。

春のトンボたち

トンボといえば、夏から秋をイメージする昆虫ですが、里地では春からトンボを観察することができます。その代表がカワトンボ科のトンボで、ニホンカワトンボ(写真1)とアサヒナカワトンボが、4月中旬ごろからウッドパーク平尾の横を流れる沢周辺で飛び始めます。山麓のきれいな水の沢辺に生息しています。

また、トンボの中で一番有名なシオカラトンボに似たシオヤトンボが、ウッドパーク平尾のビオトープや多目的広場周辺で観察できます。シオカラトンボより一回り小さく、腹部が短いのが特徴です(写真2)。未成熟のオスは、シオカラトンボと同様に麦わら模様です(写真3)。

これらのトンボは、ホタルが飛び始める6月上旬ごろになると姿を消します。

それから、極稀に沢の近くでオツネトンボというイトトンボを見かける年があります。「オツネ」を漢字で書くと「越年」。つまり越冬するトンボです。冬でも暖かく、日差しの良い場所で見かけることがあります。

トンボを調査するときは、成虫だけではなくヤゴも調査します。ゴールデンウィークごろにビオトープや周辺の沢や湿地を調査すると、初夏に観察できるトンボのヤゴが今にも羽化しそうな大きさになっていました。

また、水辺にはヤゴ以外にもヒメタイコウチやシュレーゲルアオガエル(写真4)など多くの水辺の生き物を観察することができます。(つづく)



イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

2月27日(土)

はじめての森づくり 体験講座

場 所：愛知県民の森（新城市）
集 合：午前10時にモリトピア愛知玄関前
（愛知県民の森内）
解 散：午後3時にモリトピア愛知玄関前
対 象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）
定 員：20名（申込み順、ただし会員優先）
参加費：無料
内 容：除伐作業（細い低木を伐る作業です）
持ち物：軍手、昼食、飲料、敷物など
その他：雨天中止
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、生年月日、
電話番号を事務局へご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止する場合がありますので予めご了承ください。

定期活動やっています！ 「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日（イベントなどにより変更あり）
令和2年度：2月20日、3月20日
令和3年度：上半期、4月3日（土）※お花見の会
5月15日、6月19日、7月17日、8月21日、
9月18日
集 合：午前10時にウッドパーク平尾
解 散：自由（作業は午後12時に終了します）
対 象：個人会員（家族可）、団体企業会員
内 容：1～4月は休憩所や各所のメンテナンス
5～9月は草刈り作業
※思い付きでお楽しみ企画もあり！
その他：小雨模様でも中止（中止の連絡はありません）
申込み：原則不要です。
（事前に事務局へ連絡をいただければ有難いです）

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止する場合がありますので予めご了承ください。

森づくりベンダー新規設置のご紹介

森づくりベンダーの設置に
ご協力いただきありがとうございます。

設置協力企業名

設置場所

(株)クオーレ

豊橋市松葉町3-54

一緒にSDGsに 取り組みませんか？



会社・団体としてSDGsに取り組みたい。
でも、何から始めたらいいのかわからない。
穂の国森づくりの会では、多くの企業・団体と
協働でSDGsに取り組んでいます。
詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

ストレス緩和・睡眠の質向上
ヤクルト
Yakult 1000

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。
株式会社 イトコー
豊川市諏訪西町2-248
☎0120-86-4191(ハローよい空気)
イトコーSDGs 検索

私たちと一緒に森へいきませんか？
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<http://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも
会員になることができます。
会費：個人会員1口・3,000円／団体企業会員1口・12,000円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org